



共同利用・共同研究拠点 鳥取大学乾燥地研究センター 令和2年度共同研究発表会プログラム

開催日：令和2年12月5日（土）

場所：オンライン開催

開催日スケジュール

※★はリアルタイムのコンテンツです。

★ 9:30 ~ 10:30 開会挨拶 他

1. 開会挨拶

山中 典和（乾燥地研究センター長）

2. 共同利用・共同研究に係る最近の動きについて

(1) コロナ禍による共同研究への影響とその対応

(2) 期末評価・次期認定

(3) 本年度の共同研究発表会

恒川 篤史（共同研究専門委員会委員長）



10:30 ~ 12:00 ショートトーク配信

・各研究課題の概要説明（各ファイル内の課題は、次項の一覧表の課題番号をご参照ください。）

ファイル# 1 課題番号 A-1~A-10 ファイル# 2 課題番号 B-1~B-10

ファイル# 3 課題番号 C-1~C-10 ファイル# 4 課題番号 D-1~D-10

13:00 ~ 14:00 研究発表ファイル閲覧

※上記時間は発表会当日の目安です。閲覧は前日10時から随時可能です。

研究発表課題一覧

番号	研究代表者		研究課題
	氏名	所属機関	
A-1	岡本 龍史	東京都立大学	C3-C4 細胞質置換受精卵の作出と発生-乾燥、高温耐性作物創生へ向けて
A-2	小長谷 有紀	国立民族学博物館	古写真を用いた環境問題研究
A-3	武田 真	岡山大学	コムギの長葉毛が乾燥耐性に及ぼす影響の遺伝生理学的解析

番号	研究代表者		研究課題
	氏名	所属機関	
A-4	関山 剛	気象庁気象研究所	陸面状態の影響を強く受けた黄砂発生量の数値モデルシミュレーションと予測
A-5	一戸 俊義	島根大学	GPS と加速度データロガーを用いたエチオピア放牧牛の代謝エネルギー要求量の推定
A-6	田川 公太郎	鳥取大学	大規模太陽光発電パネル群周りの風環境に関する風洞実験
A-7	岡本 昌憲	宇都宮大学	野生タルホコムギを利用した耐乾性コムギ育種のための分子遺伝学的解析
A-8	飯泉 仁之直	農業・食品産業技術総合研究機構	気候変動下のスーダンにおける品種別のコムギ生産適地マッピング
A-9	佐々木 雄大	横浜国立大学	モンゴル草原植生の気候変動への感受性を規定する要因：生態系の抵抗性と回復性に着目して
A-10	寺本 宗正	鳥取大学	海浜砂丘における土壌呼吸の時空間変動
B-1	片岡 良太	山梨大学	トルコ国内の塩生植物に内生する微生物群集と塩類集積土壌のファイトレメディエーションに関する研究
B-2	長岐 清孝	岡山大学	乾燥、高温ストレス耐性作物の創生に向けて- CRISPR/Cas9 による染色体イメーシング法の開発
B-3	宮沢 良行	九州大学	通水特性が制約する黄土高原のニセアカシア成長
B-4	Nigussie Haregeweyn	鳥取大学	A framework to enhance the sustainability of the current SLM initiatives
B-5	石原 亨	鳥取大学	ムギ類における乾燥ストレスが脂質代謝に及ぼす影響の解明
B-6	土本 卓	大阪大学	乾燥地油料果樹の改良と有効活用に関する研究
B-7	齊藤 忠臣	鳥取大学	GPS 受信機を利用した広域土壌水分計測の可能性検討
B-8	立入 郁	海洋研究開発機構	アジア・アフリカ乾燥地の将来乾燥度変化
B-9	山崎 裕司	鳥取大学	未利用遺伝資源を用いたリン節肥性/パコムギ系統の構築
B-10	濱本 亨	鳥取大学	ザンビアにおける土地利用変化に伴う土壌微生物群集の変化 Variability in soil microbial community along with land-use change in Zambia
C-1	須藤 重人	農業・食品産業技術総合研究機構	ウガンダ共和国の農耕地における温室効果ガス排出のモニタリングと削減技術開発に関する調査研究
C-2	荒木 良一	和歌山大学	乾燥ストレス条件がソルガム穀粒中のミネラル含量に及ぼす影響
C-3	野副 朋子	明治学院大学	乾燥地でも生育できる作物の開発を目指して：ストレス特異的な根細胞内構造の解析

番号	研究代表者		研究課題
	氏名	所属機関	
C-4	小田 あゆみ	信州大学	モンゴル森林ステップの植生劣化過程における土壌養分動態変化メカニズムの解明
C-5	Faisal Mohamed Ahmed ELHAG	鳥取大学	Climate change adaptation options for dryland livestock farming in Sudan
C-6	坂 智 広	横浜市立大学	コムギの頑健な根系形成能力の評価法と遺伝資源の選抜についての研究
C-7	牧 輝 弥	近畿大学	黄砂バイオエアロゾルの気中耐性と生体影響を評価する機能メタゲノミクス
C-8	柳 川 亜 季	明星大学	植生指数から算出した生態系機能評価指標を用いた砂漠化の進行速度の推定
C-9	武 靖	鳥取大学	Assessment of wind erosion risk using non-photosynthetic vegetation index in the northern Gobi Desert
C-10	宇 部 尚 樹	鳥取大学	野生種タルホコムギにおける二次代謝の多様性
D-1	永 淵 修	福岡工業大学	モンゴル高原における地下水中微量物質および病原細菌によるヒト健康リスク評価とその削減対策
D-2	柏 木 純 一	北海道大学	干ばつ環境下におけるコムギ収量安定のための代替ソースの同定
D-3	内 藤 健	農業・食品産業技術総合研究機構	<i>Vigna</i> 属野生種の耐塩性に関するスクリーニングと形質評価
D-4	篠 田 雅 人	名古屋大学	新しい干ばつ感受・回復指標を用いた植生脆弱性の評価
D-5	大 西 一 成	聖路加国際大学	モンゴルにおけるダスト及び乾燥地の環境が及ぼす健康影響
D-6	Kim, June-Sik	理化学研究所	環境耐性型コムギの網羅的代謝産物および遺伝子発現のダイナミクス解析
D-7	Mohamed Fahmy Abd El Baki Hassan	鳥取大学	Evaluation of a New Numerical Scheme for Determination of Irrigation Depths in the Egyptian Nile Delta
D-8	Dagnenet Sultan Alemu	鳥取大学	Impact of SWC Conservation Measures on Runoff under contrasting agro-ecologies of Upper Blue Nile basin, Ethiopia
D-9	伊 藤 健 彦	鳥取大学	モウコガゼルが見ている世界：モンゴルの長距離移動性野生草食獣へのカメラ装着
D-10	留 森 寿 士	鳥取大学	次世代バイオ燃料生産に資する種間雑種ジャトロファの開発 (1)

★ 14 : 00 ~ 16 : 00 各研究発表への質疑応答

- ・下記の時間に沿って行います。各グループ内の課題は前項の一覧表における課題番号をご確認ください。

14 : 00~14 : 30	グループA	課題番号	A-1~A-10
14 : 30~15 : 00	グループB	課題番号	B-1~B-10
15 : 00~15 : 30	グループC	課題番号	C-1~C-10
15 : 30~16 : 00	グループD	課題番号	D-1~D-10

★ 16 : 30 ~ 17 : 30 閉会挨拶 他

1. 令和2年度共同研究発表会の講評および総括

島田 章則（共同研究委員会委員長／麻布大学・教授）

2. 令和3年度共同利用研究の公募について

恒川 篤史（共同研究専門委員会委員長）

3. 共同利用施設・設備の整備等について

辻本 壽（施設・環境委員会委員長 乾燥地植物資源バンク室長）

4. 研究発表賞贈呈

島田 章則（共同研究委員会委員長）

5. 意見交換会

島田 章則（共同研究委員会委員長）

恒川 篤史（共同研究専門委員会委員長）

6. 閉会挨拶

辻本 壽（乾燥地研究センター 副センター長）

鳥取大学イメージキャラクター

（愛称：とりりん）

～アリドドームとともに～



〈問い合わせ先〉 共同利用・共同研究担当 吉川・池本・奥山
〒680-0001 鳥取市浜坂 1390 鳥取大学乾燥地研究センター
メールアドレス : alr-kaikei@ml.adm.tottori-u.ac.jp
電話番号 : 0857 (23) 3411
※大会当日電話番号 : 0857 (30) 6326